

対話と思索で
未来の経営を構想する

第69回
軽井沢トップ・
マネジメント・
セミナー

AI共生時代の生産性改革
～新たな付加価値を創造する人と組織～

日時 2026年7月8日(水) 10:30▶7月9日(木) 15:30

参加者 企業・団体のトップマネジメントおよび経営幹部の方

会場 軽井沢プリンスホテル ウエスト



公益財団法人 日本生産性本部

都会の喧騒を離れた環境で、 経営のあり方に向き合う思索の時間。

軽井沢トップ・マネジメント・セミナーは、日本で最初の経営者セミナーとして1958年(昭和33年)に開催されて以来、68回に渡って実施してまいりました。

2026年に開催される第69回は「AI共生時代の生産性改革～新たな付加価値を創造する人と組織」を統一テーマとして掲げます。

2020年代に入り、新型コロナウイルスのパンデミック、ロシアによるウクライナ侵攻等地政学リスク、ポピュリズムの台頭や貿易政策における保護主義の高まりなど、従来のシステムやルールが通用しない時代に入っています。

生産性が低迷する日本では、人口減少による深刻な労働力不足に直面しています。また、生成AIやPhysical AIなどのデジタル技術は、企業で働く人はどうあるべきかという根源的な問いを投げかけるなど、企業経営に抜本的な変革を迫っています。

日本企業が再び世界と伍する競争力を取り戻すために、AI共生時代における生産性改革の推進が急務です。そのためには、働く人と組織とはどうあるべきか考え直すと共に、AIと人間が協働する新たな価値創造のあり方を模索することが重要になっています。

こうした問題意識のもと、第69回の本セミナーでは、激変する経営環境において経営者の本質的な役割である「物語としてディレクション(方向性)を語る」、「価値判断の基準を示したうえでのディシジョン(意思決定)」、「自律性を引き出し新しい価値を届けるエグゼキューション(実行)」をどのように進化させていかなければならないかを議論いたします。

本セミナーは、経営トップ層が相互に研鑽し、対話を通じ新たな洞察(インサイト)を得る場として設計しています。そして、その洞察にもとづいて経営の進化が、各企業の持続的な成長を牽引し、ひいては日本の産業界全体の活性化につながるという前向きなメッセージを発信したいと考えております。

■ 経営に真正面から向き合える環境

都会の喧騒からあえて離れて軽井沢という非日常空間に身を置くことで、経営について真正面から向き合うことができます。そこで最新の経営トレンドやベストプラクティスを学び、経営のあり方や戦略の方向性をじっくりと構想いただけます。

■ 多様性に富んだ講師陣

総合コーディネーターをはじめ、卓越した企業経営者・有識者が登壇。また、ベテラン経営者から新進気鋭の起業家、大企業から中小・スタートアップに至るまで、様々な業種業態の多様性に富んだ講師陣を通じて思考の幅も大きく広がります。

■ オンラインセミナーでは得られない講師・参加者同士の交流を深めるプログラム構成

全セッションを円卓で実施するなど、参加者同士のコミュニケーションを促進いたします。また、全体セッション、分科会ではテーマ毎のグループに分かれ、講演を聞くだけでなく、講師やモデレーターの進行のもと、同じテーブルの参加者とテーマについて情報交換をする時間を設けます。他社の事例や参加者の意見を通じて気づきや学びを得ることができ、人脈も広がる機会となります。

Time Schedule

Day1 / 7月8日(水)	
10:30	開会挨拶 日本生産性本部 会長 小林 喜光
10:40	問題提起 総合コーディネーター：日本共創プラットフォーム(JPiX) 代表取締役会長 富山 和彦 氏
11:00	基調講演 半導体産業とAI共生の未来(仮) Rapidus 代表取締役社長兼CEO 小池 淳義 氏
12:00	昼食交流会
13:15 16:15	全体セッション AI共生時代、経営者が描く人と組織の未来像 ゲストスピーカー クレディセゾン 取締役兼専務執行役員 CDO兼CTO 小野 和俊 氏 燈 代表取締役社長兼CEO 野呂 侑希 氏 コメンテーター 日本共創プラットフォーム(JPiX) 代表取締役会長 富山 和彦 氏 モデレーター 早稲田大学ビジネススクール教授 入山 章栄 氏
17:30 19:00	パネルセッション 次代を担う経営者の挑戦 ゲストスピーカー AgeWellJapan 代表取締役CEO 赤木 円香 氏 fermata 代表取締役CEO 杉本 亜美奈 氏 モデレーター 日本共創プラットフォーム(JPiX) 代表取締役会長 富山 和彦 氏
19:00	夕食交流会

Day2 / 7月9日(木)	
9:30 12:30	分科会A 次代を創る経営者の育成と人的資本投資 ゲストスピーカー 三菱電機 代表執行役 執行役社長 CEO 漆間 啓 氏 ダイヤ精機 代表取締役社長 諏訪 貴子 氏 モデレーター ボードアドバイザーズ 代表取締役社長 佃 秀昭 氏
	分科会B 顧客と創る新たな付加価値～期待を超えるサービスの実践 ゲストスピーカー エアークローゼット 代表取締役社長兼CEO 天沼 聰 氏 ナビタイムジャパン 代表取締役社長 大西 啓介 氏 モデレーター 松井サービスコンサルティング 代表 松井 拓己 氏
12:30 13:45	昼食交流会
12:40 13:35	特別ランチセッション ご希望制/定員あり 経営幹部の「武器」としての経済学 ゲストスピーカー 政策研究大学院大学 教授 安田 洋祐 氏
13:45 15:00	特別講演 伝統と革新(仮) 雅楽師 東儀 秀樹 氏
15:10	コーディネーター総括 日本共創プラットフォーム(JPiX) 代表取締役会長 富山 和彦 氏
15:30	閉会

※スケジュールや各セッションのテーマおよび登壇者は変更となる場合がございます。
※各分科会ならびに早朝プログラム、特別ランチセッションの選択は、お申込みいただいた後にお送りする「参加のしおり」にて希望をお伺いいたします。

統一テーマ | AI共生時代の生産性改革～新たな付加価値を創造する人と組織

総合コーディネーター



日本共創プラットフォーム(JPiX) 代表取締役会長 富山 和彦 氏

ボストンコンサルティンググループ、コーポレートディレクション代表取締役を経て、2003年 産業再生機構設立時に参画しCOOに就任。解散後、2007年経営共創基盤(IGPI)を設立し代表取締役CEO就任。2020年日本共創プラットフォーム(JPiX)を設立。メルカリ社外取締役、日本取締役協会会長。内閣府規制改革推進会議議長代理、金融庁スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議委員、他政府関連委員多数。東京大学法学部卒、スタンフォード大学経営学修士(MBA)、司法試験合格。

Day1 / 7月8日(水)

■ 基調講演「半導体産業とAI共生の未来」(仮)



Rapidus 代表取締役社長兼CEO 小池 淳義 氏

1978年、株式会社日立製作所に入社し、半導体事業部に配属される。生産技術センター第一生産技術部長、半導体グループ生産統括本部生産技術本部本部長を経て、2000年に日立—UMCの合弁会社トレセンティテクノロジー株式会社を設立し、2002年3月に同社の取締役社長に就任する。2006年8月、サンディスク株式会社 代表取締役社長に就任。2018年4月より、株式会社 HGST ジャパン代表取締役 並びにウエスタンデジタルジャパン株式会社代表取締役を兼任し、日本のウエスタンデジタルを代表するウエスタンデジタルジャパン プレジデントに就任する。2022年8月、Rapidus 株式会社を設立し、代表取締役社長兼CEOとして現在に至る。

全体セッション「AI共生時代、経営者が描く人と組織の未来像」

AI時代における人間の役割を考察。人材の能力を引き出し、持続的な企業価値向上を実現させるための経営者の役割、特に人と組織のあり方を議論する。AI・デジタルによる事業変革を推進している大企業、Physical AIの産業実装を支援するスタートアップ、それぞれの第一線に立つ経営リーダーが実践経験を交わし合い、AI共生時代における人と組織の未来像に対する多様な示唆を提示する。



ゲストスピーカー 小野 和俊 氏

クレディセゾン 取締役兼専務執行役員CDO兼CTO

1999年サン・マイクロシステムズ株式会社に入社。米国本社での開発などを経て2000年に株式会社アプレッソを起業、データ連携ミドルウェアDataSpiderを開発し、SOFTICより年間最優秀ソフトウェア賞を受賞。2013年に株式会社セゾンテクノロジーとアプレッソが資本業務提携。2019年に株式会社クレディセゾンへ入社。取締役CTOなどを経て、2023年3月より現職。Forbes CIO Award 2021準グランプリ、日経クロステックCIO/CDOオブ・ザ・イヤー 2023特別賞受賞。



ゲストスピーカー 野呂 侑希 氏

燈 代表取締役社長兼CEO

東京大学工学部卒業。高校1年次にYahoo! Open Hack Uで審査員特別賞を受賞。入学後、東大松尾研主催のGCIで優秀賞受賞。2020年に新卒就活向けHRテック企業を創業。松尾研究所にて上場企業とのAI共同研究やコンサルティングに従事。2021年燈株式会社を創業、CEOに就任。『Forbes JAPAN 30 Under 30 2022』選出。2026年1月、三菱電機から企業評価額1,000億円超で約50億円を調達。ユニコーン予備軍の仲間入りを果たす。



モデレーター 入山 章栄 氏

早稲田大学ビジネススクール教授

慶應義塾大学卒業、同大学院経済学研究科修士課程修了。三菱総合研究所でコンサルティング業務に従事後、2008年米ピッツバーグ大学経営大学院よりPh.D.(博士号)取得。同年より米ニューヨーク州立大学バッファロー校ビジネススクール助教授。2013年より早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール准教授。2019年より教授。専門は経営学。国際的な主要経営学術誌に論文を多数発表。メディアでも活発な情報発信を行っている。

■ パネルセッション「次代を担う経営者の挑戦」

次代を担う経営者が描く未来と経営における考え方や価値観をもとに、これからの経営の在り方について若手経営者と共に思索する。



ゲストスピーカー 赤木 円香 氏

AgeWellJapan 代表取締役CEO

東京都渋谷区生まれ。慶應義塾大学卒業後、味の素株式会社に入社。2020年にAgeWellJapanを創業。「挑戦と発見を通じてポジティブに歳を重ねる生き方・行動(Age-Well)」を軸に、エイジズムのない社会の実現と超高齢社会の変革を掲げている。シニアに限定したサービスではなく、若者・地域・企業・大学など多様な世代や立場が交わる関係性の中から、Age-Wellが育まれていく多世代共創型の社会モデルを設計。

孫世代の相棒による世代間交流サービス「もっとメイト」、多世代が集う常設型コミュニティ「モトバ!」、体験型イベント「Age-Well Festival」、産学官民連携ネットワーク「Age-Well Design Lab」を展開している。Forbes JAPAN「世界を救う希望100人」選出、日経ウーマン「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2026」受賞。



ゲストスピーカー 杉本 亜美奈 氏

fermata 代表取締役CEO

アジアに生まれ、アフリカで育ち、ヨーロッパで学んだグローバルヘルスの専門家。ロンドン大学衛生熱帯医学大学院(LSHTM)にて公衆衛生学・医療経済学の博士号を取得後、医療アクセスの格差是正に取り組む中で、文化的・社会的背景から長年見過ごされてきた「女性の健康」に注目する。2019年にフェムテック領域に特化した「fermata」を創業。産官学民をつなぐエコシステムの構築を軸に、エビデンス創出、政策提言、企業連携、薬事承認、流通支援、投資支援までを一貫して担い、日本市場への円滑な参入と制度設計の支援を行っている。日経ウーマン「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2024」受賞。



(2025年7月、第68回軽井沢トップ・マネジメント・セミナーの様子)

分科会 A「次代を創る経営者の育成と人的資本投資」

経営者等次世代リーダーの育成を含めた人的資本投資を通じ、激変する経営環境においても機会を捉えるための変革を推進し、結果を出している企業の取り組みを考察する。企業規模も事業背景も異なる経営者が、自らの実践経験に基づく知見を交わし合うことで、人を起点とした経営変革のあり方を多角的な洞察で掘り下げる。



ゲストスピーカー 漆間 啓氏

三菱電機 代表執行役 執行役社長 CEO

1982年早稲田大学商学部卒業、三菱電機入社、名古屋製作所に配属。2004年Mitsubishi Electric Europe B.V. 取締役ドイツ支店長 兼 FA PMD (プロダクトマーケティングダイレクター)、2012年Mitsubishi Electric Europe B.V. 取締役社長 兼 国際本部 欧州代表、2015年常務執行役FAシステム事業本部長、2018年社会システム事業本部長 兼 ITS推進本部長、2020年取締役 代表取締役 専務執行役 経営企画・関係会社担当(経営企画室長)などの要職を経て2021年に取締役 代表執行役 社長執行役員 CEOに就任。2025年電子情報技術産業協(JEITA)会長および日本電機工業会(JEMA)会長に就任し産業界の発展にも注力。



ゲストスピーカー 諏訪 貴子氏

ダイヤ精機 代表取締役社長

成蹊大学工学部卒業後、ユニシアジェックス(現・Astemo)でエンジニアとして働く。32歳(2004年)で父の逝去に伴いダイヤ精機社長に就任。自社の40年分の経営データを読み解き、さまざまな改革を実施。バーコードを活用した生産管理システムを導入して取引先への対応力やコスト管理能力を高めるほか、熟練技術の若手社員への継承などにも意欲的に取り組み、中小製造業が直面する課題を解決する。2021年に岸田内閣下で「新しい資本主義実現会議」有識者構成員に就任。2022年より日本郵政の社外取締役、2024年より日本テレビホールディングスの社外取締役。日経ウーマン「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2013」大賞受賞。著書に「町工場の娘」(日経BP社)等がある。



モデレーター 佃 秀昭氏

ボードアドバイザーズ 代表取締役社長

1986年東京大学法学部卒業、MITスローン経営大学院修了。三和銀行、マクラガン・パートナーズを経て、2000年スイス本社のエゴンゼンダーに入社。日本法人社長、スイス本社経営会議メンバーを歴任。2019年3月現株式会社ボードアドバイザーズの事業開始。取締役会実効性評価、社長後継者計画、経営幹部コーチング等に従事。金融庁、経済産業省の有識者会議メンバーを歴任。

分科会 B「顧客と創る新たな付加価値～期待を超えるサービスの実践」

顧客と共にサービスを創りだし、新しい付加価値を提供するための仕組みを構築し、事業成長を実現している企業の実践事例に学ぶ。日本サービス大賞・内閣総理大臣賞を受賞した2社は、AIと人の感性を融合し、顧客の声をもとに提案精度を磨き続けることで期待を超える体験を実現。テクノロジーと人を組み合わせた事業成長の要諦を探る。



ゲストスピーカー 天沼 聰氏

エアークローゼット 代表取締役社長兼CEO

ロンドン大学にて情報・経営を学び、帰国後アビームコンサルティングにてIT・戦略コンサルタントを約9年間従事。2011年、楽天に移籍し、UI/UXに特化したWebのグローバルマネージャーを務める。2014年7月、「ワクワク」が空気のようにあたりまえになる世界へ」をビジョンに掲げ、エアークローゼットを創業。2015年2月、日本初の普段着に特化した月額制ファッションレンタルサービス「airCloset」を立ち上げる。2022年「第4回 日本サービス大賞」内閣総理大臣賞受賞。



ゲストスピーカー 大西 啓介氏

ナビタイムジャパン 代表取締役社長

1993年に上智大学大学院理工学研究科電気電子工学博士後期課程を修了、株式会社大西熱学に入社。環境試験装置のアルゴリズムソフトウェア開発に携わる。1996年、大学の後輩(現 副社長兼CTO)とともに、社内ベンチャーとして経路検索エンジンビジネスを立ち上げる。1998年、モバイル向け経路探索地図描画に関するアルゴリズム及び独自データフォーマットを開発。世界初の多様な移動手段に対応したトータルナビゲーションを完成。2000年3月に株式会社ナビタイムジャパンを設立、代表取締役社長兼CEOに就任。2025年「第5回 日本サービス大賞」内閣総理大臣賞受賞。



モデレーター 松井 拓己氏

サービス サイエнтиスト / 松井サービスコンサルティング 代表

1981年岐阜県生まれ。プリダストンにて商品開発および新規事業開発PJリーダー、平均年齢62歳170名の専門家が集うワクワクコンサルティングの副社長を経て、現職。目に見えない「サービス」の本質を科学する「サービスサイエンス」を活かして、業種を問わず様々な企業の変革を支援。日本最高峰のサービス表彰制度である日本サービス大賞の選考専門委員、サービス学会理事、ルネサンス社外取締役なども務めている。主な著書に『事前期待～顧客価値の設計図～(2025)』などがある。

■ 特別講演「伝統と革新」(仮)

千年以上の歴史を持つ雅楽の伝統や魅力をロックやポップスとの融合、映画・CMへの楽曲提供など革新的な表現で世界に発信し続ける東儀氏に、伝統文化の継承と進化、アートがもつ力についてお話いただく。



雅楽師 東儀 秀樹 氏

1959年東京生まれ。東儀家は、奈良時代から今日まで1300年間雅楽を代々受け継いできた楽家(がっけ)。父の仕事の関係で幼少期を海外で過ごし、あらゆるジャンルの音楽を吸収しながら成長した。宮内庁楽部在籍中は、箏(ひちりき)を主に、琵琶、太鼓類、歌、舞、チェロを担当。宮中儀式や皇居において行われる雅楽演奏会などに出演するほか、海外での公演にも参加。日本の伝統文化の紹介と国際親善の役割の一翼を担う一方で、雅楽器とピアノやシンセサイザーの独自の曲の創作に情熱を傾けてきた。1996年アルバム「東儀秀樹」でデビュー。国内外を問わずコンサートを開催し、日本レコード大賞企画賞、日本ゴールドディスク大賞 純邦楽・アルバム・オブ・ザ・イヤーなど受賞歴多数。古典はもとより、ロック、ジャズ、オーケストラとのコラボレーションと、雅楽器の持ち味を生かした唯一無二の表現で雅楽の新たな可能性を切り開き、日本の芸術文化の振興に貢献したとして2024年度文化庁長官特別表彰を受賞。2026年デビュー30周年を迎え、新たなアルバムの制作と、秋以降全国各地で行われるツアー公演に向け精力的に活動中。

オプションプログラム

■ 特別ランチセッション「経営幹部の“武器”としての経済学」

データが新たな付加価値を生み出す時代、世界の先端企業では経済学をビジネスに活用して生産性向上を実現する取り組みが広がっている「経済学×生産性の最先端」。需要予測や価格戦略、ゲーム理論や行動経済学など、経済学の学知を実際にビジネス活用することを支援している安田氏にご紹介いただき、理論と現場の両面から「経営幹部の“武器”としての経済学」について、皆さまとディスカッションする。



ゲストスピーカー 安田 洋祐 氏

政策研究大学院大学 教授

2002年東京大学卒業。最優秀卒業論文に与えられる大内兵衛賞を受賞し経済学部卒業生総代となる。2007年に米国プリンストン大学でPh.D.(経済学)取得。大阪大学准教授、教授などを経て、2025年10月より現職。専門は戦略的な駆け引きを分析するゲーム理論。政府の委員やテレビのコメンテーターとしても活動。読売テレビ「ミヤネ屋」、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」などに出演。2020年に株式会社エコノミクスデザインを共同創業。著書・論文多数。

早朝プログラム 7月9日(木)

バードウォッチング

軽井沢プリンスホテル近郊を散策し、野鳥観察を行います。案内役より野鳥や軽井沢の自然の解説も行います。悪天候で野鳥観察ができない場合は、宴会場内での実施となります。

マインドフルネス

昨今、国内外の企業で広く取り入れられている「マインドフルネス」を屋外で行います。爽やかな軽井沢の朝の空気を感じながら瞑想をすることで、日々のストレスの軽減や集中力の強化を促します。悪天候の場合は宴会場内での実施となります。



(2025年7月、第68回軽井沢トップ・マネジメント・セミナーの様子)

参加・申込要項

開催日時 2026年7月8日(水)10:30▶9日(木)15:30

参加対象 企業・団体のトップマネジメントおよび経営幹部の方々

会場 軽井沢プリンスホテル ウエスト

〒389-0193 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1016-87 TEL 0267-42-1111

参加費(税込) 賛助会員：297,000円

一般：319,000円

参加費に含まれるもの：8日 昼食、夕食／9日 昼食、早朝プログラム

※宿泊費および朝食費は含まれておりません。ご宿泊ならびにご朝食につきまして、軽井沢プリンスホテルご利用の方には参加者特別料金が適用されます。参加お申し込み受付後にお送りする「参加のご案内」にホテルの詳細と宿泊予約案内を同封いたしますので、お手数ですがそちらをご参照の上、直接お申込み下さい。

お申し込みについて セミナーホームページから必要事項をご入力の上、お申込みください。

軽井沢トップ



<https://www.jpc-net.jp/seminar/detail/002628.html>



歴史と伝統を基盤に、時代のさらに先へ。

進化し続ける「軽井沢トップ・マネジメント・セミナー」

1958年(昭和33年)8月11日から16日までの6日間にわたって「第1回 軽井沢トップ・マネジメント・セミナー」が開催されました。当時は、経団連、日本商工会議所、経済同友会との共催でした。そうした中で日本生産性本部は、当時ビジネスの最先端をリードしていた米国に視察団を派遣する等して得た知見や、培ったネットワークで集積した情報を、セミナーを通じて広く日本の経営者に伝えることで、日本の経営力の強化に繋げて参りました。

時を経て、インターネットの普及やデジタル技術の進化によって、世界中の情報に誰もが容易にアクセスできる時代となった今、この時代だからこそ一層大切になる「人と人の繋がり」が生まれる新しいスタイルのセミナーへとコロナ禍後の2022年から新たな進化を遂げました。志を高く掲げる経営者が一堂に会する「自社／自身の経営のあり方を見つめ直す場」を、この夏も提供してまいります。

公益財団法人 日本生産性本部 軽井沢トップ・マネジメント・セミナー事務局

セミナー内容について 高柳・松沢・植村 セミナーのお申し込み 尾崎

〒100-6105 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー5F TEL 03-5511-2028 E-mail topseminar@jpc-net.jp